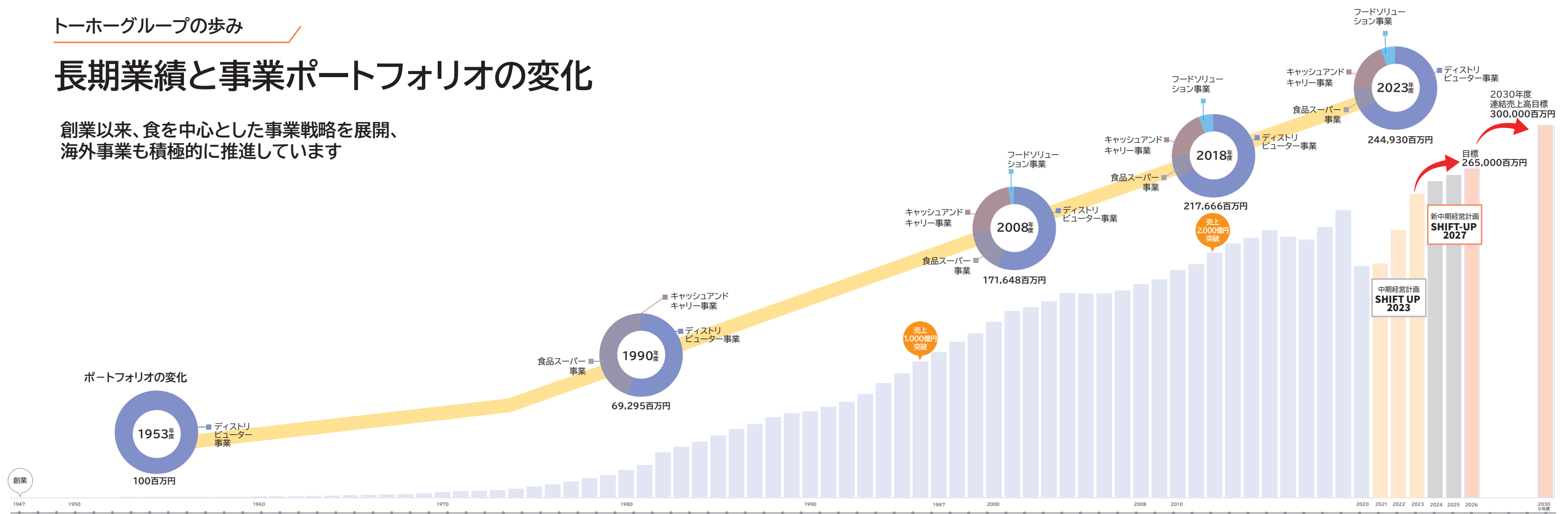


トーホーグループの歩み

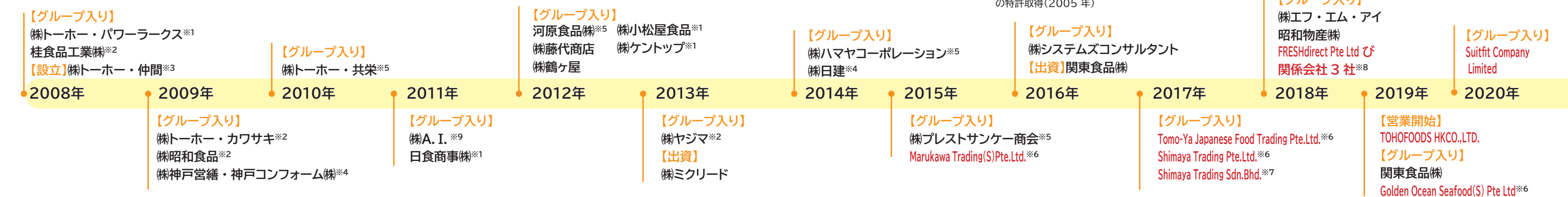
長期業績と事業ポートフォリオの変化

創業以来、食を中心とした事業戦略を展開、海外事業も積極的に推進しています



- | 1947年～ | 1960年～ | 1970年～ | 1980年～ | 1990年～ | 2000年～ | 2010年～ | 2020年～ |
|--|--|--|---|--|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> - 輸入コーヒー豆の取引を始め、戦後のコーヒー新時代を拓く(1951年) - 東蜂産業株式会社設立 (1953年) - 外食産業への食品卸に本格的に参入 (1954年) | <ul style="list-style-type: none"> - 食品スーパー「トーホーストア」1号店を開店(1960年) | <ul style="list-style-type: none"> - 業務用自社ブランド商品 (GBブランド) の開発が本格化 (1970年) | <ul style="list-style-type: none"> - 業容の拡大と今後の発展を期して社名を「株式会社トーホー」とし、株式上場する(1983年) - 常温・冷凍の自動倉庫を備える鳥栖物流センターと鳥栖コーヒー工場が完成(1985年) - 業界の先駆けとなるプロの食材の店「A-プライス」1号店 (中津店)開店(1987年) | <ul style="list-style-type: none"> - 厳正な商品の維持・管理に努めるため品質管理室 (現品質保証部)を設置(1994年) - 関東進出 (東京支店を開店) (1997年) - 7 温度帯管理など、その後のモデル事業所となる福岡支店完成 (1999年) | <ul style="list-style-type: none"> - 東証一部上場(2000年) - 六甲アイランドコーヒー工場完成 (2000年) - 安心・安全な業務用自社ブランド「EAST BEE」「スマイルシェフ」投入(2000年) - (株)アスピット設立、外食産業向け ASP 事業開始(2001年) - フェアトレードコーヒー発売開始 (2003年) - コーヒー豆の炭焼焙煎法にて初の特許取得(2005年) | <ul style="list-style-type: none"> - 関東を中心に国内 23 社、シンガポール 8 社 (関係子会社3社を含む)、マレーシア1社、香港1社の業務用食品卸売業の M&A 等を実施 | <ul style="list-style-type: none"> - 香港の業務用食品卸売業の M&A を実施(2020年) - 東証プライム市場に区分変更 (2022年) - 代替プロテイン「大豆ミート」を使用した EAST BEE プラントベースハンパークの販売を開始(2022年) - BAP 認証を取得した EAST BEE 海老フライの販売を開始(2023年) |

M&Aによるコア事業の構築と海外展開 ※赤文字は海外子会社



8 ※1: 現 (株)トーホーキャッシュアンドキャリー、※2: 現 (株)トーホー・北関東、※3: 現 (株)トーホー沖縄、※4: 現 (株)トーホー・コンストラクション、※5: 現 (株)トーホーフードサービス、※6: 現 toho Singapore pte.Ltd.、※7: 現 toho Foods Malaysia sdn.Bhd.、※8: 現 FRESHdirect Pte.Ltd.、※9: 解散